

第7期 活動報告

2013. 3. 31現在

長野県和算研究会

1 2011年6月3日 中村信弥会長 平成23年度信毎賞受賞！

信毎賞は、「長野県下の文化・社会・教育・産業・スポーツなどに貢献し実績顕著な個人、団体に贈られる」名誉ある賞です。本年度で18回目を迎えました。受賞理由は、「現代数学を用いた和算問題の検証及び著書などによる和算の普及活動の実績」を評価する、とのことでした。

中村先生の最初の御著書は「長野県の算額」昭和39年（大阪教育図書；共著）ですが、赤羽千鶴先生の「信濃の和算」編纂にも大変なご尽力をされたと聞き及んでいます。以来50年を超える数学史研究の中で、多数の論文・著書を発刊され、長野県を中心とした和算の研究成果を、県内・国内にとどまらず、海外にも積極的に発信されてきました。同時に、和算に興味・関心を持つ方々に対する暖かなご指導の様子は枚挙にいとまありません。

受賞を心よりお祝い申し上げると同時に、長野県和算研究会員としても大いに誇りに思うところです。今後とも、世代を越えて和算の魅力を語り続けていただけることをお願い申し上げます。

2 2011年7月12日 NHK 教育テレビにて

NHK教育テレビ『直伝和の極意 あっぱれ！江戸のテクノロジー』（平成23年6～7月、毎週火曜日、連続8回放映）内容：江戸時代の天才たちを取り上げ、その知恵を現代に紹介する。という企画の中で、第6回が「関孝和 円周率解法の極意」。解説テキスト中に「信州の和算文化」を紹介。

3 2011年8月9日 長野県数学会夏期研修会にて講演（於：長野南高校）

小林博隆氏講演「和算の魅力的な定理」

4 2011年8月21日 木島平村農村文明塾主催第1回農村学講座にて

(1) 現地研修「木島平村の『算額・算塚』を訪ねる：樋口和雄氏（木島平村文化財調査専門幹）

(2) 実習「子どももいっしょに『和算』にチャレンジ」：山崎実氏

※ 飯山木島平の動き

①木島平中学校にて算額作成…指導者山崎実（外部講師）

②野口湖龍関係資料、木島平村指定文化財へ 山崎実、樋口和雄

5 2011年8月20日、21日 第7回全国和算研究富山大会開催

6 2011年9月10日 第6回総会・研究発表開催

時 間 10:00～14:00 場 所 飯山北高等学校 会議室

参加者 会員12名、飯山北高校理数科生徒2年3名、一般2名、計17名

1 総会次第 10:00～10:50

1 開会のあいさつ

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 第6期活動報告

(2) 第6期会計報告・監査報告

(3) 会則改正（学生会員の扱い）

(4) 役員改選・役員自己紹介

(5) 第7期事業計画

(6) その他①『星梅鉢』（八島龍晴著）寄贈本

②藤田定資先生顕彰碑建立資金寄付依頼の件

③「高井郡田上村観世音奉納額術」野口湖龍著の複写

2 報告と研究発表 11:00～12:40

(1) 和算・算額（飯山市と木島平村） 飯山北高校理数科3年

(2) 和算から洋算への切り替え（学制と訳語会） 同 理数科2年

(3) 新作算額「三斜内容累円術」 竹花 卓 氏

(4) 天幕社第4問について 北原 勲 氏

(5) 『宅間流円理』について 小寺 裕 氏

資料参加 長野市立七十二会中学校での算額制作について 内岩 望 氏

同 中学数学と和算 伊藤 栄一氏

3 近況報告・昼食会 12:40～13:10

※ 会員が取り組んでいること、和算関係ニュースの情報交換

4 講演 13:10～14:20

信毎賞受賞 中村信弥氏「和算への招待 -飯山北高生のために」

7 2011年9月15日 会報23号発行

1	会員紹介（竹花卓さん、関口哲男さん）	
2	免許状・秘伝書から見た信州宮城流和算	小林博隆
3	伊那市上牧平成館所蔵の算額 その後	小林博隆
4	資料紹介（1）算家経譜	北原 勲
5	数学だより（七十二会中学校 数学科）	内岩 望
6	課題研究『和算・算額』—飯山北高校理数科	竹之内礼

		小林彩美 上倉昇吾
7	第8回幹事会報告	
附	北信濃新聞記事「寺の格天井から算額」2010/9/11 付	

8 2011年10月27日 北信高等学校教頭会にて講演（於：松代高校）

小林博隆氏講演「和算を教育現場に活かす」

9 2011年11月14日 作新大学・大学院にて講演

（於：長野市更北公民館）小林博隆氏講演「更北地区の和算家たち」

10 2012年1月20日 上伊那算数数学研究会にて講演

（於：上伊那農業高校）小林博隆氏講演「上伊那の和算家たち」

11 2012年4月27日 信州大学 第50回フレッシュキャンパスセミナー

（於：信州大学全学教育機構大会議室（松本））

中村信弥氏講演 「日本人が忘れた数学 和算」

12 2012年5月1日 樋口和雄氏「北信州木島平の和算風景」

（しなのき書房）を発刊。

著者は、木島平村にお住まいで、元県立歴史館専門主事文献資料課長、木島平中学校長。平成25年は、野口湖龍没後200年忌でそれを見据えての発刊と聞く。貴重な研究書かつ啓蒙書である。

13 2012年5月6日 中日新聞に、七二会中学校の生徒（和田佳珠 3年）の算額コンクール銅賞受賞の紹介がありました。（指導教諭 内岩望先生）

14 2012年8月7日（火）日数教全国大会（福岡）

伊藤栄一氏「木島平の算額」を発表

15 2012年8月9日（木）～10日（金） 飯山市城北中学校にて

中野・下高井算数数学同好会、飯水算数数学同好会共催の[夏季研修会]

第2日目に木島平の算額実地研修（9:00～11:30）が行われる。講師として、伊藤栄一先生（飯山北高校）、樋口和雄先生（木島平村教育委員会）が参加。

15 2012年8月25日（土）～26日（日）

第8回全国和算研究大会宮城大会

16 2012年9月2日（日）小諸市八幡神社例大祭にて

八幡神社奉納算額（小村流 金井長懿）の複製 お披露目

「貴重な文化遺産であるこの小諸八幡宮の算額は文字の墨が近年薄くなって、ほとんど読めなくなってしまう事に気づいた氏子祭事係の人々の中からこれを読めるようにすべきであるという声があがり、中村信弥氏に助言を仰ぎ、地元の文化後援団体でもある社団法人荒町和合会が中心になって、この算額を複製する話がすすめられました。その結果この算額の説明用復元算額ができあがり、今年八幡宮の例大祭において御神前に報告し、この冊子をもって広く一般に披露することとなりました。現代数学による解析は中村信弥氏によるものです。関係者一同非常な喜びとするものであります。」～『小諸市・八幡神社 奉納算額の復元』より抜粋。

サイズは 34cm×86cm、ステンレス製腐食エッチング製法による。

● 長野県和算研究会会員による論文・図書の紹介（第7期分）

- 1 木島平の和算家本山宣智 小林博隆 『高井』(高井地方史研究会)2011.第 176 号
- 2 和算家市川佐五左衛門とその周辺 小林博隆 『信濃』(信濃史学会) 2011.10月号
- 3 更北地区の和算家たち(全4回) 小林博隆 更北地区公民館報 2012.6～2013.3
- 4 信州への関流和算の流入 小林博隆 『信濃』(信濃史学会) 2012.7 月号
- 5 小諸市・八幡神社 奉納算額の復元 中村信弥 小諸市荒町和合会発行 2012.9.2
- 6 杉成算について 北原 勲 数学史研究通巻 213 号 2012.11.25
- 7 間山の和算家 海野與右衛門 小林博隆 『高井』(高井地方史研究会)2013.第 182 号

● 長野県和算研究会蔵の図書等の紹介（第7期分）

- 1 新谷藩一万石史補遺 星梅鉢 八島龍晴著
寄贈：愛媛県和算研究会渡辺雅道氏 2011.8

※ 記載漏れの活動報告・論文・図書等について、情報をお寄せ下さい。（事務局）